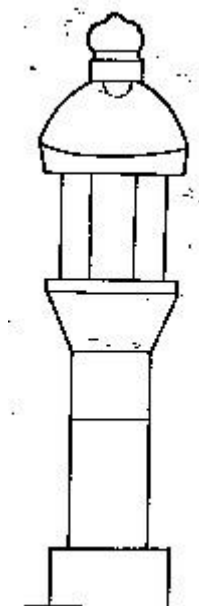


## 駒ヶ根市文化財

名称	下塩田の六地藏石幢
種別	歴史資料
所在地	東伊那塩田
説明	<p>下塩田箱畳の字如意輪観音堂に、重制の石幢(せきどう)がある。今は基礎と幢身の一部迄土中に埋まっており、石質は花崗岩系である。古くは、この地の一段上の平地にお堂があったと伝えられており、地名や地形の状況からも、うなずけることである。</p> <p>またこの近くに、極めて古い五輪塔が保存されている外、近辺に残る社・寺と関係のある地名や遺物などから推測して、古代から中世初期にかけての注目すべき地域である。</p> <p>幢身の部分に刻字が見られ「□□十四天八月念一日□」とだけ判読できる。これに関しては、応永二 24 年(1417)の説も出されてはいるが、現状での判読は困難で、今後の地域全体の総合調査が必要と考えられる。ただこの石幢の現状のみで判断すれば、石質・形状・石の風化などから、大久保蓮台場のものより、やや時代は下るのではなかろうか。</p>



下塩田の六地藏石幢



下塩田の六地藏石幢